

## 授業の評価と課題

---

NIEの授業を展開した2学期に、国語の授業で自由な題で作文を書きました。その中に、こんな二人の作品がありました。

### Uさん「新聞とニュースで・・・」

私は、このごろ学校で新聞をならっています。新聞の見出し、写真、イラストなどよく見てみると、いろいろな工夫やぎ間がわいてきました。新聞をいろいろ勉強してみて、私は、少し自分が変わったような気がします。一つは、テレビのことです。私は、いつもテレビは、マンガばかり見ていました。いつもマンガだけしか見ていなかった私が、このごろは、よくニュースを見るようになりました。始めはあまり興味を持たず、ただかんたんに聞いているだけでした。でも、新聞とテレビを比べてみたりあの事けんはどうなったかなどだんだん見るようになりました。今では、ニュース・キャスターやニュースの事けんを何にしようかといろんなニュースを比べたりして試しています。もう一つは、新聞もテレビらん、興味をもった所だけでなく、たく山いろいろな所を読むようになりました。新聞もいろいろ読んでみると、テレビで放送していなかったこと、ある事けんの続きなどがのっていてとても面白いです。このように私は、だんだん世界のニュースなどに興味を持ちました。始めはいやいやでしたが、今はいつも見えています。こんなふう楽しくニュースなどを見れて、とてもいい成長だと思いました。

### Oさん「新聞との新しい出会い」

二学期になって社会の授業で、私達は新聞を題材にして勉強しています。私は、小学生新聞を三年の終わりごろから、読んではいましたが、今までふ通の新聞はあまり読んだことがありませんでした。何となく活字が小さくて、漢字が多くて文もむずかしいような気がして、まるで別世界の物の様に思っていたのです。先生が、いろいろな記事を取りあげて説明をして下さったり、スクラップした写真や記事を見せて下さったり、さまざまな新聞を持ってきて読む機会をあたえて下さったので、急に新聞が身近に感じられるようになりました。今まで、社会の出来事は、テレビのニュースで知ることが多かったのですが、このごろは、朝学校に登校する前に、弟と競争して新聞を見るようになりました。とはいえ、いつもいつも私が興味を引かれる記事が第一面にのっているとはかぎりません。「なんだ、今日はおもしろいのがないわ。むずかしいことばかりでつまらないの。」と文くをいう日が二・三日続いた時に母が「それなら社会面を見てごらんなさい。それと生活面をあけてごらんなさい。」と教えてくださいました。さっそく大きな紙面をペラペラめくってみると、おいしそうなお料理の写真や、動物などに関する記事が目にとまりまし

た。(ああこんなのも新聞にのっているのだな) それからは、私の見る新聞のはんいは、かなり広くなりました。しゅ味や大きな社会的なニュースにならないような記事にもけっこうおもしろくて私達にとってためになる物が、多いことが分かってきました。新聞を読むと、今世界でおこっている出来事や、時の流れや動きがよくつかめるしテレビよりもくわしく解説してあるのでなにも知らない私達でもよく理解できます。それに一つの出来事について、いろいろな意見が書かれているので、見方が広がって私なりの考え方が持てるようになってきました。天気予報やテレビらんも利用できるし、いつもいつもむずかしい記事ばかり読んでいなくてもけっこういろんな楽しみ方が出来ることも学びました。私は朝、新聞を手にするとき、半分わくわくしながら、そして少し大人になったような気分になります。これからも沢山新聞を読みたいと思います。

もちろん、すべての子供がこのような考えを持ってくれたものではありません。23時間という長い時間に少しあきてしまったと言っていた子供もいれば、「私は迷(?) ニュース・キャスター」や「自由研究」の内容にも個人差があり、全員が主体的、個性的な新聞との付き合い方ができているわけではないのです。そこで、今回の授業の問題点を考え、私自身の今後の課題を明確にしてみます。

#### 1) 発問・指示を明確にした授業を

毎回の授業を振り返ってみると、やはり「粗い授業」であると感じます。発問・指示が明確でないことからくる子供のとまどいが多かったのではないかと思います。内容が難しいだけに「きめ細かさ」が必要でしょう。

#### 2) 「新聞」をまるごと使う時の授業の充実を

授業当日の朝刊を使うこともあり、私自身の内容を読み取ったの教材研究と発問・指示づくりの準備不足のため、充実した授業がなかなかできませんでした。NIEの中心的なテーマだけに、今後最も力を入れてみたいと思います。

#### 3) 個に応じた指導の具体化を

単元の構造で示した基礎的な読み方、主体的な読み方、個性的な読み方のそれぞれの段階において、一人ひとりの子供に応じた指導を具体的につくっていくことが重要でしょう。一人ひとりの受けとめ方をどのように尊重し個に合わせた指導をすればよいのでしょうか。また、読解力が十分でない子への対処の仕方はどのようにしたらよいのでしょうか。今回、毎時間ごとに「授業についての感想」を書いてもらい、全体の指導の計画には参考にしましたが、個に応じた指導には活用することができませんでした。

#### 4) 「新聞」の理解から具体的に社会を観察する力を

「イラストをキャッチする」の授業から日本で販売をされた黒人キャラクター商品を集めて、その是非について考えたように、自分たちで資料を集めて考えてみる授業に発展さ

せたいと考えます。

#### 5) 授業研究の方法の多様性を

今回は「スライド」「ビデオ」「子供の作品例」を中心に研究を進めてきましたが、これらやこれ以外の方法を多様に使い教師の指導や子供の実態を明確にすることが重要でしょう。